

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その10）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2023 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の12企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【せき・まちづくりNPOぶうめらん】

「若者が関に戻ってきて住み続けられるまちへ」を理念として、地元・関市の郷土愛醸成のためのフリーマガジン『ぶうめらん』や『高校ぶうめらん』の制作を始め、市民活動を支援する市民活動センターの運営など、関市のまちづくり事業を行っています。



【HP】 <http://vousmelan.com/>

関連する 主な SDGs	4 質の高い教育を みんなに 	11 住み続けられる まちづくりを 	17 パートナシップで 目標を達成しよう 
--------------------	--	---	--

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・町をよりよく、より活性化させるために働いているということが分かりました。町で働くイメージができる、企業が元気で町を支えている、市民がイキイキと暮らすことができる、そして郷土愛をもつ、持ってもらう、このぶうめらんのような循環が出来るようになると若者が町に戻り、住みたくなるし住み続けられるような町になっていくんだなと感じました。

・一般の会社とNPO法人との違いを改めて詳しく知ることが出来ました。社会問題である過疎化、都市一極集中は今までできていたことを不可能にしてしまうなどすごく深刻だなと思いました。私は地方にも地方ならではのいい所がいっぱいあるのになと思います。だからそれを広めることが私たちにできることだなと感じます。また、教育は公教育と地域教育で成り立つということを聞いて、勉強だけじゃなくて様々な価値観で考えていくことが大切なのだなと思いました。学校では勉強のことばかり言われるけど、FRH活動も同じくらい大事だし、課外活動(ボランティア)の経験を積むことで、社会に出た時に使う力を自分で作っていけるので積極的に参加したいと思いました！

・NPOなどの市民の活動を支援している団体があることを初めて知りました。また、メデ

ィアで配信するのは若い世代にとって親しみやすくいいなと思いました。地域の活動やイベントは調べても欲しい情報が見つかりにくかったりするけれど、豊富な情報を乗せてもらえると地域の活動に参加する機会が増えたり、関心度が上がったりすると思いました。

・NPO とは何か分かった。非営利団体なので利益をあげないものだと思っていたけど、そうではなくて、利益を次の活動の資金にするということを知った。私は大学でまちづくりについて学んでみたいと思っているので、今回の講義はとても興味深かったし、ぶうめらんの理念や活動を知ることができておもしろかった。とても良い機会だった。

・私は将来留学するなどグローバルな環境で生活したいと思っている一方、高校の探究活動で地域の活性化にも興味を持っていたので、まちづくりにおいて「グローバル」という考え方や多様な視点で考える力が大切と聞いて、将来「グローバル」に生きてみるのもいいなと思いました。また、ぶうめらんさんの「若者が戻り、住み続けられる街へ」を目指して行っている活動も初めて知るものも多く、大事な事業だなと思いました。

・僕は輪島 KABULET の取り組みが面白いと思いました。輪島 KABULET ではお年寄りの方と子連れ世帯の両方に優しい施設を作ることで少子化と高齢化の両方に同時に組み合わせて費用を抑えたり両者の分断を防いだりできるのだと考えました。また、今回の講義で地域は学校よりも多様な考えで溢れている場所だということに気づくことができました。これからは然るべきときにはそのことを忘れずに物事を考えたいと思いました。本当にありがとうございます。

・今回は、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。最初にぶうめらんさんがNPO 法人ということに驚きました。一般企業と思っていたからです。NPO が非営利団体というのは知っていましたが、具体的にどんな団体かは知らなかったのが、利益が次の活動資金になるなど新しい学びがあってよかったです。また、関市という町をメディアや市民活動、高校生探究などさまざまな分野から支援していてすごいなと思いました。

・NPO 法人の活動内容が詳しく分かり、とても勉強になりました。非営利団体、という言葉は知っていたものの、利益を分配するのではなく次の活動資金にするなどの仕組みは今まで知りませんでした。また、普段私たちが読んでいる雑誌「ぶうめらん」発行の裏に隠された工夫や努力も分かりました。今後はローカルとグローバルを繋げて考え、行動していくこと(グローバル)が大切だと学んだため、私も高校生の今しかできない活動を積極的に取り組みたいです。本日はありがとうございました。

・企業だけではなく、利益のためだけでなく、社会を良くするために直接的に関わる仕事がすごく身近にあることを感じました。私たちは、都会に出て働くという未来が自分の中でとても印象が強く、地元で働くイメージがあまり持てなかったのが、こんなにも身近にあることがわかって、少し想像がしやすくなりました。また、このような仕事では、様々な視点での知識や技能が必要となっているのが分かって、色々な分野において、学ぶ必要があることがわかった。地元を活性化させるため、人々の暮らしをよくするために働くのはとてもやりがいのある仕事だろうなと感じました。ありがとうございました。

・NPO 法人というものがどういう団体で、ぶうめらんの方々がどんなことをされているかについて、たくさん知ることができました。スタッフの方々の経歴や今まで考えてきたことをお聞きして、高校や大学での経験がダイレクトに仕事につながっていると思いました。だから、私もそういう将来につながる生き方をしたいと思いました。

・ぶうめらん自体が、雑誌を出しているというイメージしかありませんでしたが、今回のお話を聞いて、それだけじゃないということを知ることが出来ました。NPO 自体も何となくですが今まで知らなかったことを知ることができ、とても勉強になりました。私も留学に興味を持っていて、大学では絶対行こうと思っているのでそのお話についても聞けて良かったです。今回はありがとうございました。

・NPO といった非営利団体は、利益を次の活動資金にあてることで、企業が取り組めないような問題にも積極的に取り組んでいることを初めて知りました。また、地域の人々と深く関わり合うことで、若者が関市に戻ってきて住み続けてもらおうとする努力が理解でき、もし、自分に身近なまちづくりの活動などを見つけたら進んで参加してみたいと思いました。

・関市への愛や、関市をよりよくしたい、活性化させたいという熱い思いが伝わってきました。関高校の探求活動でグローバルかつローカルに考える、というのをやってきましたが、正直まだあまりどう考えたらいいかわかりません。まずグローバルに考えることから始めて、そこから地域の方に視点を向けていけたらと思います。今日はありがとうございました。

・まちづくりについてのイメージが抽象的でフリーマガジンくらいしか知らなかったから、こんな活動をやっているということが知れて面白かった。話し合いを行う際には、自分の話を伝えて、相手の話も聞いて、双方の気持ちをなかつたことにしないようにしているとおっしゃっていて、素敵なお考えだなあと感じて、自分も今の生活に活かしたいなと思った。

・NPO と一般企業の違いについて、よく分かりました。地域の方々とつながりを大切に、様々な活動をされていて、本当にすごいな、と感じました。私たちも地域に住む一人として、今すぐにも行動することが可能なんだな、と思いました。私と同じ高校生がクラウドファンディングを立ち上げ、実際に地域のために行動してくれていることを知って、自分も頑張ってみようと思いました。本日はありがとうございました！

・今日の講座を受けて、地域を変えていくためには、地域のこともたくさん知ることが大切だなと思いました。お話しされていた講師の先生方は関市のことをたくさん知っていて、地球に密着した会社になろうと考えていて、すてきたなと思いました。

・NPO とは何かについて詳しく知らなかったから、利益の仕組みについてなど、細かく知ることが出来てとても勉強になった。また、若者が戻りたくなる地域を作ることについて、どうしてそれをする必要があるのかやそれを達成するためにどんなことをしているのかがとても分かりやすかった。地元のために幅広い活動をしていてすごいと思った。

・せき・まちづくり NPO ぶうめらんの行なっていることが、ぶうめらん誌のようなメディア事業と、関ジモト大学のような学生探求事業だけだと思っていたけれど、市民活動センター事業というものもやっていて、活動についてよく知れたので、おもしろかった。目指す街が、人、もの、お金、ありがとうであふれるまちと言っていたのが、心に残りました。

・お金や合理性よりも非合理的である人とのつながりが大切になってくるというお話が印象に残りました。地方と都市を比べて地方の魅力を考えたとき、やはり人との直接的なつながりを日常的に感じられることが挙げられると思います。私も今取り組んでいる FRH の探求活動をしていく中で、地域の人とのつながりを大切にしながら活動していきたいと思いました。

・NPO の皆さんがどのような活動をして街作りにかかわっているのか知ることができました。また、今まで NPO について知らないことが多くあったけど、今日お話を聞いてたくさんのことを学びました。公教育だけでは学べないことを学べるのが NPO ぶうめらんの活動だとわかりました。私は、数多くある活動の中でとんとん館での活動が印象に残りました。お年寄りの方々が地域の子供たちの世話をすることで、子育て世代の負担の軽減や、お年寄りの方々の活躍の場を作れて地域の活性化につながると感じました。

・NPO として私たちの地域に身近で関わってくれている方のお話を聞いてとても嬉しかったです。質疑応答の時、よく、「相手の気持ちに寄り添う」、「正論を振りかざさない」といった言葉があって、自分の今までの行動を振り返った時、相手に自分の意見を押し付けてしまっていたなとか、相手と意見が違った時ちゃんと受け止めていただろうかといったことがあって、視野をもっと大きくしていくことが大切だと思いました。また、お話の中の「ひと、もの、お金、ありがとうが循環するまちづくり」という言葉がとても素敵だなと思いました。